

令和3年8月19日

各務原市介護保険サービス事業者協議会 会員各位

平素は当協議会に格別のご配慮いただきありがとうございます。  
全国の感染爆発が続いており、市内でも感染者の報告が続いているところで  
す。事業所間の連鎖的な感染を防止することを是非取り組んでいきたいところ  
です。ここで市内で合言葉にしたいのは、「発症日はいつ?」ということ。国が  
濃厚接触と決めている、発症前2日間、潜伏期間の5.5日などが計算できるか  
らです。これらにより、対応と対策が打てることとなります。ここで、市内の  
事業所から資料を頂きました、感染対策の責任者様と共有させてください。市  
内の仲間のために資料提供ありがとうございました。これらの事例は、職員の  
感染が発覚してから、の対応ではなく、職員の家族や周囲が罹患した場合で、  
今後の感染発症を予測した資料です。記載のある、5.5日の潜伏期間や、感染  
前2日間などは例外はあるもののほぼ的中するようです。

皆様には、最初の「発症日の特定」（事例は同居家族など）それから「他人へ  
の感染能力」の高い2日間の特定（事例は同居家族の感染能力期間）他の者へ  
の接触があれば、接触の先の「発症日の予測」（事例は、スタッフの発症予  
測、接触から5.5日）その先の、「他人への感染能力」の高い2日間の特定  
（事例では、一部未来の日付、予想発症日2日前）この辺りを、職員からの報  
告があった際にそれぞれ考えて頂きたいところです。またこのような職員家族  
からの状況報告をもらえる社内の環境をお願いします。公的機関からも感染日  
の特定やその先の濃厚接触者の特定などは協力頂けますが、昨今の爆発で、回  
答待ちになっていることを全ての報告で聞いています。自社でこれらのロジッ  
クを理解して、自社の濃厚接触者、自社の休業の必要な日程などをある程度  
考えられる状況を作っておかれることをお勧めします。回答待ちをずっと待っ  
て休み続けることになりかねません。

とにかく重要なことは体調変化の見られた「発症日の特定」です。ここが起算  
日になり、前後が予想できます。正しく恐れて、正しく拡大を防止しましよ  
う。よろしくご査収ください。

各務原市介護保険サービス事業者協議会  
会長 稲垣 光晴

---

<http://kakamigahara-kaigohoken.sakuratan.com/>  
[mitsuharu@satsuki-5.co.jp](mailto:mitsuharu@satsuki-5.co.jp)

